

2012年6月～2022年12月までに当院において「ASD就労準備プログラム」 にご参加いただいた方へ

「ASD就労準備プログラム受講者の帰趨状況の把握と就労 阻害要因の探索」研究へのご協力をお願い

研究機関名 岡山県精神科医療センター
研究機関長 来住 由樹

研究責任者 岡山県精神科医療センター 公認心理師 内田晃裕

本研究は、岡山県精神科医療センター倫理委員会の承認を受け、研究機関の長の許可を受けて実施します。

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

自閉スペクトラム症（ASD）と診断された方の中には、コミュニケーションの苦手さや特性への気づきが乏しいこと等から、就労が困難な方がいらっしゃいます。そのような方に対する支援の一つとして、ASD就労準備プログラムを行ってきました。これまでに、ASDの方に対してどのような就労支援が効果的なのか調べた研究はほとんどありません。ASD就労準備プログラムを受けた方がどのくらい就労できているか、また、どのような要因が就労を妨げるのかを明らかにすることは、非常に意義があると考えております。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究の結果を、ASDの方に対する就労支援の普及やより良いプログラムを提供することに役立てたいと考えています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

広汎性発達障害（PDD）もしくは自閉スペクトラム症（ASD）と診断をされた方で、2012年6月～2022年12月までにASD就労準備プログラムに参加した方を対象とします。

2) 研究期間

2023年9月倫理委員会承認後～2025年3月31日

3) 研究方法

電子カルテから必要な情報を個人が特定できない形で収集し、就労の有無や就労期間と関連する要因を明らかにするために、統計的な解析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、以下の情報を使用させていただきます。氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は含まれません。

- ・就労の有無及び就労期間
- ・年齢、性別、主診断、重複診断、ASD診断のタイミング、入院経験、最終学歴、不登校経験、ひきこ

もり経験、居住形態

- ・ 自意識尺度、特性的自己効力感尺度（GSES）、就労準備性チェックシート、Autism-Spectrum Questionnaire Japanese version（AQ-J）、ウェクスラー成人知能検査（WAIS）
- ・ 過去の就労経験、離職の要因、障害開示の希望、就労意欲の程度、就労支援・職業訓練を受けた経験とその内容、精神障害者福祉手帳の取得、障害年金の取得

5) 外部への情報の提供

氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報を含まない研究に関する情報を、共同研究者である岡山大学社会文化科学研究科客員研究員の西村大樹氏と共有し、分析を行います。

6) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山県精神科医療センターで保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、当院のホームページに掲示してお知らせします。

7) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

8) 研究資金及び利益相反

本研究は公的資金の助成を得て実施されます。利益相反はありません。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、**2023年11月30日までの間に**下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にも不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山県精神科医療センター

氏名：内田 晃裕

電話：086-225-3821（平日：8時30分～17時15分）

ファックス：086-234-2639